



ちょっと苦い……かな

学童クラブで行儀良く 和菓子とお茶いただく

葛巻学童クラブ（児童24人）は5月21日、講師に長朶千賀子さん（田子）を招いてお茶会を開きました。お茶会に準備された色とりどりの季節の和菓子を、初めて見た子どもたちは「わあ〜、きれい」とびっくりした様子。長朶さんから手ほどきを受け、子どもたちは行儀良く正座をして、お互いに和菓子やお茶を出したり、いただきました。初めての抹茶の味に、思わず顔をしかめる子もいましたが、和菓子とお茶の絶妙なバランスに「もう1杯!」とおねだりする子も。みんなで楽しく礼儀作法を学ぶ一日になりました。



講師の楽しいお話と音楽で楽しく体を動かす参加者

ピラティス体操教室で 心地よく運動を楽しむ

町公民館主催の「ゆるやかピラティス体操教室」が5月10日、立花知加子さん（盛岡市）を講師に総合センターで行われ20人が参加しました。ピラティス体操は、体への負担が少なく、動きがゆるやかなため幅広い年代の人が楽しめるのが特徴です。この体操を続けることにより、代謝や姿勢が良くなったり、けがの予防などの効果が期待されています。参加した熊谷アサ子さん（小田）は「いつも使わない筋肉を使って、しかも笑いながら楽しめました。心地よい疲れですね」と話しました。

中小・小規模経営者の 現場の意見国の施策へ

日本の未来応援会議〜小さな企業が日本を変える〜（経済産業省中小企業庁主催）が5月14日、総合センターで開催され町内の商工業関係者ら約40人が出席しました。この応援会議は町内の中小・小規模企業の現場の意見を聞くために開かれ、出席した30〜50代の経営者からは「若手の人材育成や起業にもっと支援してほしい」「補助申請の手続きの簡素化を」「個人事業まで政策が届いていない」などの意見が出されました。現場の声を国の施策に生かすため全国31カ所で開催、今後の予算や法律改正に役立てられる予定です。



意見を述べる町内の参加者

オリジナルの介護劇で 認知症の理解を深める

葛巻小学校（^{がくまざわらび}嶽間澤均校長）の4年生・31人は5月23日、「孫による認知症講座」を開き、認知症の理解を深めました。町の地域包括支援センターの米田純奈保健師が紙芝居や絵本などで認知症についての基礎知識を説明。その後、町内の介護に携わる有志で構成する「劇団きずな」が、サザエさんのキャラクターをもとに介護劇をユーモアをいっぱい披露しました。講座を受けた鍋倉永憲さんは「おばあちゃんにやさしくしてあげたい」、佐藤春奈さんは「困っている人がいたら助けてあげたい」と感想を話しました。



オリジナルの介護劇でより一層理解を深めました



校庭を整地する重機

旧馬淵小学校の校庭を 業者の協力により整備

旧馬淵小学校の校舎や校庭などを管理している「ひかる会」（川崎美由起代表）は、5月7日から8日まで南建設株式会社（軽米町・南勉社長）の協力で校庭の整備をしました。同社は、昨年度から県の林道工事で馬淵地区に来町しており、同社土木課の小松幹敬さんは「得意な分野で地域の皆さんに喜んでいただければうれしいです」とぬかるんだ校庭を重機などで整地しました。川崎会長は「春先は農家など地域のみなさんも忙しいので、大変助かりました」と感謝しました。



楽しく料理する参加者たち

春らしい献立を楽しむ ママのクッキング講座

町子育て支援センター主催の「ママのクッキング講座」が5月23日、保健センター調理室で行われました。なかよし広場や子育てサロンに参加している親子が対象で、今年度1回目の講座の献立は「黄色い帽子ごはん、野菜スープ、ウインナー、いちご」。黄色い帽子ごはんは、オムライスをかわいい帽子にみたく、いちごも親子の顔にカットし、かわいいランチプレートが完成。親子で参加した八幡麻美さん（田子）は「春らしい献立を作ることができてよかったです」と笑顔で話しました。この講座は、これから5回予定されています。